

むせと誤嚥の仕組みを知って、
むせと誤嚥の予防対策を行うと
ご本人の人生、ご家族の人生
職員の自信・責任感・協調が
変わります。



むせと誤嚥予防研修で行うこと

人体の仕組みと重力の利用

- ・喉の構造
- ・むせと誤嚥の仕組み
- ・危険な症状
- ・むせと誤嚥がしにくい姿勢
- ・日常生活で気を付けるとき

~~できないこと（医療行為）~~

- ~~・嚥下治療~~
- ~~・嚥下診断~~
- ~~・嚥下内視鏡検査（VE 検査）~~



姿勢を変えるだけで
口から食べられる方が多くいます

むせの防ぎ方
唾液のコントロール方法
をお伝えします



誤嚥性肺炎で 入退院を繰り返さないための予防研修

【研修目的】

誤嚥の仕組みを知り、日常生活の場で注意がいる場面の誤嚥性肺炎の予防法を体験する。
最新の嚥下治療「横になって食べる完全側臥位法」を誤嚥予防に取り入れ、すぐに日常生活の場で活用できることが研修目的です。

【研修内容】

1. むせと誤嚥の仕組み

- 1-1. 嚥下の仕組みをイラスト動画で説明。
- 1-2. 透明咽頭モデルを使って、むせと誤嚥の起こる仕組みを説明。
- 1-3. 日常起こるむせや誤嚥の例 **食物誤嚥・唾液誤嚥**。

2. 最も簡単で誤嚥しにくい姿勢

- 2-1. 透明咽頭モデルを使って、完全側臥位を説明。
- 2-2. 仰臥位と完全側臥位の比較。
- 2-3. なぜ、完全側臥位が食物誤嚥予防に有効か。
- 2-4. 唾液誤嚥に有効な**回復体位・前傾座位**を知る

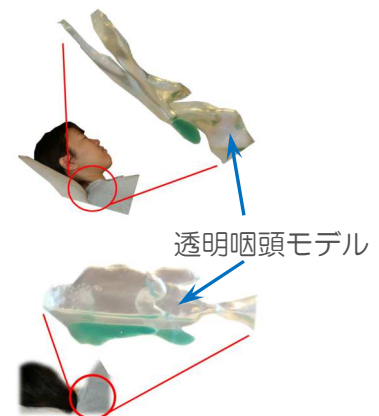


3. 日常生活において、唾液誤嚥が生じやすい場面

- 3-1. 体調を崩したとき。
- 3-2. 風邪やインフルエンザにかかったとき。
- 3-3. 夜間や休息時のむせ。
- 3-4. 経鼻経管栄養をしているとき。
- 3-5. 胃瘻をしているとき。

4. 誤嚥しにくい側臥位・前傾座位の体験

- 4-1. 少人数のグループで体験。
- 4-2. 多人数の場合代表者による体験。



むせさせない。誤嚥させない介護は始まっています。

～むせと誤嚥の仕組みが分かれば、姿勢を変えるだけで誤嚥性肺炎の予防は可能です。

風邪やインフルエンザにかかったときこそ予防が必要です。



前田 悟 (マエダサトル)
 (株) 甲南医療器研究所代表
 平成 19 年～平成 26 年まで、兵庫県立福祉のまちづくり研究所で非常勤研究員として、仰臥位での食事支援機器の研究開発を行なっていました。平成 27 年に「完全側臥位法」と出会い衝撃を受け、福村先生指導の元、ホームページ等での情報発信と商品開発をしております。
<http://easyswallow.jp/>
 株式会社甲南医療器研究所
 〒653-0032 神戸市長田区荻藻通 2-7-6
 TEL 078-651-3819



年間 12 万人以上の方が肺炎で亡くなられ、その 9 割以上が 65 歳以上の高齢者です。

- ・誤嚥性肺炎で入退院は、繰り返すもの。
- ・むせない誤嚥（不顕性誤嚥）は防ぎようがない。
- ・むせや誤嚥は怖いけど、食事介助をしなければいけない。

職員の多くは自責の念を抱いています。

次のような経験はありませんか

- ・食事中急にむせて口の中の物が唾液と一緒に吹き出した。
- ・看護師から、背中を倒して食べさせるように言われたけどむせが治らない。
- ・夜中側臥位にしている、直ぐに仰向けになり咳き込んでいる。
- ・食欲がなくなり、熱が出たので診察してもらったら肺炎になっていた。
- ・経鼻経管栄養や胃ろう中にむせが多い。
- ・肺炎で入院して退院されたが、また、誤嚥するか心配。
- ・次、肺炎にかかるとう命が危ないと言われたがどうしたらいいかわからない。これらの多くは、経験されている事だと思います。むせと誤嚥の仕組みが分かれば、むせと誤嚥は予防できる可能性があります。

「誤嚥性肺炎で入退院を繰り返さないための予防研修」を受けた職員の声

- 今までの常識と違うのに驚きました。
- のどの中の仕組みがわかった。
- すぐに試したい入所様がいる。
- なぜむせていたのかわかった。
- むせさせない食事介助があるとは知らなかった。
- スプーン山盛りでも、横になって食べられた。
- 唾液・鼻水の怖さが理解できた。
- もっと早く知っていれば、苦しい表情を見なかった。
- ご家族に、自信を持って説明できる。
- むせない誤嚥予防を試したい。
- 側臥位実習の体験は分かりやすかった。
- 飲み込めない体験は新鮮だった。

研修で用意していただくもの

参加者全員の紙コップと一人当たり 50cc の水。
 一人当たり 15g ほどのヨーグルトとスプーン
 ※職員全員が参加しないと効果はありません。私は聞いていない、やり方がわからないといって誤嚥予防が途切れます。研修後の施設では、100%理解できなくてもみんなで相談して対応されています。

予防研修の料金

参加人数や日数によって変わります。
 ・基本4～15人：1回90分～120分 20000円+交通費+経費
 体験実習用ベッド1～2台
 ・20人を超える場合や、実施日や回数の調整、実習場所、プロジェクターの用意など相談が必要な場合は、まずお電話ください。

問い合わせは今すぐお電話を：078-651-3819
お申込は今すぐ FAX を：078-330-1132

※お申込方法……下記項目にご記入いただき、この用紙を 078-330-1132 まで、FAX してください。

お名前		施設名		役職	
ご住所	〒				
電話番号		FAX 番号			
参加人数		人	実施回数		回
希望日程		月 日 ごろ	希望実施時間帯		